

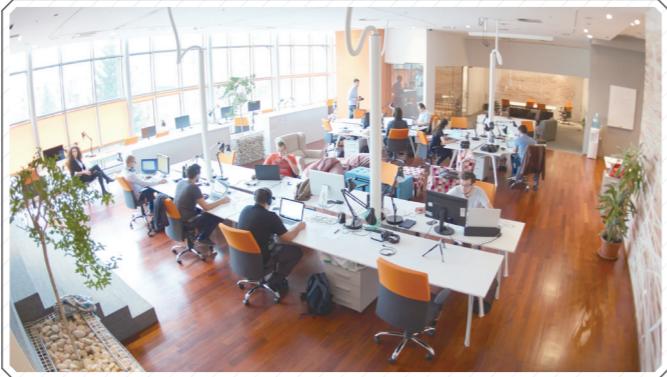
PYTHON CAREER COLLEGE

Pythonキャリアカレッジコースガイド



Python プログラミング実践短期講座

Instagramやdropboxの開発などでも有名で、近年はディープラーニング・機械学習での活用でも注目を浴びるPythonの習得講座です。言語別年収ランキングでも1位になったPythonを習得することで、これからの時代に求められるエンジニアスキルが身につきます。



Line-up / 開催講座ラインナップ

未経験者におススメ!

Python
基礎講座

注目のエンジニアスキル!

Python
機械学習プログラミング講座

即戦力で役に立つ!

Python
webアプリケーション講座

Feature / 特徴



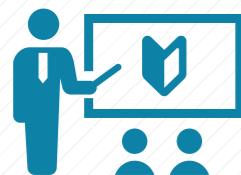
日本Python界の
トップクリエイターが直接指導



Webアプリケーション
開発はもちろん、
注目の「機械学習」にも対応



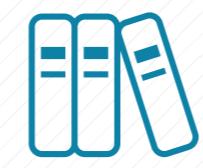
週1日全3回の短期講座だから、
働きながらでも通える



Python
未経験者歓迎(※1)



分割支払いなら、受講料は
月0.0万円でリーズナブル(※2)



セット受講なら、割引料金で、
基礎から応用まで一気に習得できる

※1:受講にあたっては、プログラミングの経験者（プログラム系専門学校、大学での学習経験もしくは、エンジニアとしての就業歴がある方）であることが本講座の受講条件となります。技術・知識の細かな必要レベルに関しましては、メール・電話・個別説明会などでご相談ください。

※2:提携教育クレジットを利用した場合となります。ご希望者様の状況により金額は変動いたしますので、ご注意ください。

1 Python基礎講座 (週1日、全3回、合計18時間)

Python言語の基礎講座になります。本講座は、Python未経験者の方を対象に、Pythonを0から指導いたします。全くの未経験者の方、独学での理解に不安のある方におススメの講座です。

学習内容 1日6時間、全3回(合計18時間)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. データサイエンス概論 | 6. 手書き文字認識 |
| 2. 機械学習アルゴリズムの分類 | 7. 分析ツールの使い方 |
| 3. 回帰分析による観測地の推測 | 8. 最小二乗法の活用 |
| 4. 線形判別による新規データの分類 | 9. 最尤推定法の活用 |
| 5. 画像ファイルの原色処理 | 10. 教師なし学習モデルの基礎 |

※内容は、都合により変更となる場合がございます。ご了承ください。



2 Python機械学習プログラミング講座 (週1日、全3回、合計18時間)

Pythonを使用した機械学習の実践プログラミング講座になります。本講座では、機械学習に関する知識の講義と、実際にプログラミングをする実践の両方を指導いたします。エンジニアとしてスキルアップしたい方におススメです。

学習内容 1日6時間、全3回(合計18時間)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. データサイエンス概論 | 6. 手書き文字認識 |
| 2. 機械学習アルゴリズムの分類 | 7. 分析ツールの使い方 |
| 3. 回帰分析による観測地の推測 | 8. 最小二乗法の活用 |
| 4. 線形判別による新規データの分類 | 9. 最尤推定法の活用 |
| 5. 画像ファイルの原色処理 | 10. 教師なし学習モデルの基礎 |

※内容は、都合により変更となる場合がございます。ご了承ください。



3 Pythonアプリケーション講座 (週1日、全3回、合計18時間)

Pythonを使用したwebアプリケーション開発の講座になります。本講座では、webアプリケーション開発のポイントも補いつつ、Pythonを使用してwebアプリケーションを開発していく講座です。

学習内容 1日6時間、全3回(合計18時間)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. データサイエンス概論 | 6. 手書き文字認識 |
| 2. 機械学習アルゴリズムの分類 | 7. 分析ツールの使い方 |
| 3. 回帰分析による観測地の推測 | 8. 最小二乗法の活用 |
| 4. 線形判別による新規データの分類 | 9. 最尤推定法の活用 |
| 5. 画像ファイルの原色処理 | 10. 教師なし学習モデルの基礎 |

※内容は、都合により変更となる場合がございます。ご了承ください。

